

2021 年 12 月 1 日

(株)東京環境測定センターニュース

(No. 225)

日本産業規格 JIS A 1481-5 が新しく制定されました。

2021 年 8 月 20 日に日本産業規格「JIS A 1481-5:2021 建材製品中のアスベスト含有率測定方法—第 5 部：X線回折法によるアスベストの定量分析方法（第 1 部の定性的判定方法を用いる場合の方法）」が制定されました。

これにより、建材製品中のアスベスト含有率測定方法（JIS A 1481 規格群）は次の 5 部で構成されることとなります。

- ・ JIS A 1481-1：第 1 部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
- ・ JIS A 1481-2：第 2 部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法
- ・ JIS A 1481-3：第 3 部：アスベスト含有率の X線回折定量分析方法
- ・ JIS A 1481-4：第 4 部：質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法
- ・ JIS A 1481-5：第 5 部：X線回折法によるアスベストの定量分析方法
（第 1 部の定性的判定方法を用いる場合の方法）

第 5 部は名称にカッコ付きで書かれているように、第 1 部で判定してアスベストの含有が確認された試料を定量する時に適用されます。第 2 部で判定した場合の X線回折による定量は第 3 部を適用します。

現時点では、厚生労働省の「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル」に第 5 部は組み入れられていませんが、いずれ改定されるものと思われます。

弊社としましても、情報を収集しつつ、今後の動向を注視してまいります。

御質問、問合せは、技術グループまでお願いします。